

# 「おじゃる言葉のイソップ<sup>o</sup>物語」講演会



**日時：平成30年4月15日(日)**

**午後1時30分～3時**

**場所：天草コレジヨ館**

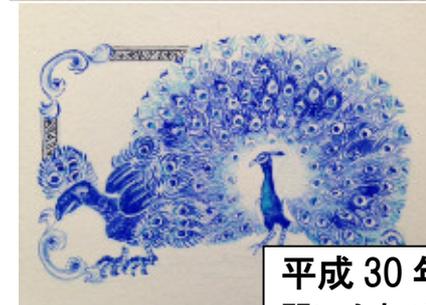
**1階展示ホール**

**天草市河浦町白木河内 175-13**

**TEL0969-76-0388**

**(講演会参加者は入場無料です。)**

■サンフランシスコ在住の絵本・童話・歴史小説家の加藤睦子さんをお招きして、2016年に出版された「天草本 いそっぽの物語」絵本の親子向けの読み聞かせ講演会を開催します。美しい挿し絵とユニークな内容を著者から聞ける絶好の機会です。たくさんの方のご来場をお待ちしています。



■天正ローマ使節団が持ち帰ったグーテンベルグ印刷機により、1593年キリシタン大名・小西行長領の天草の「河浦」において出版されたキリシタン和訳本、「ESOPONO FABVLAS(イソポのハブラス) = イソップ物語」。

■大英博物館に1冊だけ遺されたラテン文字で書かれたこの本との運命的な出逢いを経て、10年をかけて加藤さんの和訳と77枚のさし絵により、400年後に絵本(A4変形判、128ページ)として出版されました。

■「ハブラス」は当時、近畿地方の上流層が使っていたとされる「～おじゃる」と言う戦国期の言い方で和訳され、それを宣教師用の日本語教材として、ローマ字にて印刷されています。

■特に今回、当時の宣教師の多くが使っていたポルトガル語の特徴を踏まえ、忠実かつ独自の日本語表記がされています。例えば「X」の音を「シャ」「シェ」と解釈。寓話「アリとキリギリス」で有名な「蟬(せみ)と蟻(あり)との事」でも、「蟬」を「しえみ」と表記。

■天草コレジヨ館の12種類の活版印刷本も併せてお楽しみください。

平成30年度河浦まちづくり協議会・河浦地区公民館共催事業

問い合わせ先：天草市河浦支所まちづくり推進課まちづくり係 唐田・木下

TEL 76-1111 Fax 76-1359